

静岡県立横須賀高等学校

Senior High School

# Yokosuka

2022-2023

特別編 <地域連携特集Ⅱ>

連携・協働・グローバル

# 地域×横高

横高の魅力化推進！





# Yokosuka Magazine

## 特別編 <地域連携特集Ⅱ>

横須賀高校は、授業・部活動・学校行事など、さまざまな場面で地域の皆様との連携・協働に取り組んでいます。地域の魅力的な資源や人材、企業等からの御協力や御支援により、普段の授業や部活動では得られない体験や出会いの機会をたくさんいただいています。そして、地域と連携したさまざまな活動、体験を通して、地域への貢献と地域の活力となる人材の育成をめざしています。

今回、横須賀高校の地域連携・協働の実践について、Yokosuka Magazine特別編Ⅱとして発刊しました。

横須賀高校は、今後も地域とともにさらに前進していきます。



グローバル・ハイスクール  
<インターンシップ>



グローバル・ハイスクール  
<地域人探究>



グローバル・ハイスクール  
<掛川市魅力発見講座・企業見学>



グローバル・ハイスクール  
<東京都立川市のインターンシップ・県外視察>



地域との連携Ⅰ  
<部活動・生徒会>



地域との連携Ⅱ  
<授業連携>



地域との連携Ⅲ  
<掛川市との連携>



地域との連携Ⅳ  
<保育体験>



グローバル・ハイスクール <事業内容・実践状況>.....	01
グローバル・ハイスクール <インターンシップ>.....	02
グローバル・ハイスクール <地域人探究>.....	03
グローバル・ハイスクール <掛川市魅力発見講座・企業見学>.....	04
グローバル・ハイスクール <未来授業・夏休みインターンシップ・県外視察>.....	05
地域との連携 ①<部活動・生徒会>.....	06
地域との連携 ②<授業連携>家庭コース・商業コース.....	08
地域との連携 ③<掛川市との連携>.....	10
地域との連携 ④<大須賀中学校との連携>.....	12
地域との連携 ⑤<保育体験実習>.....	13
国際理解 <マダガスカル通信>.....	13

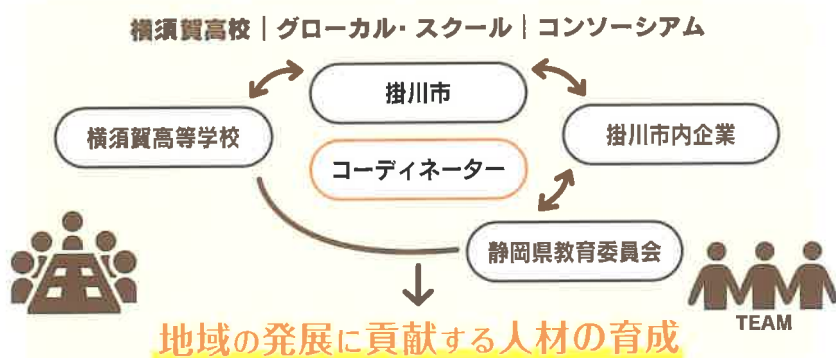
# グローバル・ハイスクール

横須賀高校は、令和3年度静岡県教育委員会「新時代を拓く高校教育推進事業」における「オンリーワン・ハイスクール（普通科改革）～グローバル・ハイスクール」実施校として指定を受けました。

## 地域連携による地域課題解決の探究に取り組みます

地域企業と連携した先端施設の活用及び就業体験の実施等授業の充実と単位認定の研究

- キャリアコーディネーター等を活用した外部機関との連携
- 地域企業の人材や設備等を活用したキャリア教育に関する学校設定科目の研究
- 長期インターンシップの運営方法やカリキュラムに関する研究



### 【令和4年度の取り組み】

- 6月 ▶ 掛川市魅力発見講座 (2年生)  
掛川市内企業見学実施 (2年生)
- 8月 ▶ 夏休みインターンシップ (希望者)
- 11月 ▶ 県外先進校視察 (三重県)
- 1月 ▶ 地域人探究 (1年生)  
横須賀地区の店舗紹介 webページ・紹介動画作成
- 2月 ▶ インターンシップ (5日間) (2年生)
- 3月 ▶ 校内発表会

## 3年間のロードマップ 構想・検証・検討・改善・実践

1年目

本事業に適したコーディネーターの選定を行うとともに、地域連携の核となるコンソーシアムを設立する。コンソーシアムの運営を通して、地域と学校が連携できる多彩な仕組みを構築する。

コンソーシアムとの協働により、先進校の視察や調査、先端施設・企業の見学、企業人材による研修会の開催などを実施するとともに、多彩な企業と連携した就業体験等の研究を進める。

コーディネーター	コンソーシアム
情報収集	調査・視察
先端施設	企業見学

2年目

専門研究機関と連携し、「新しい形での就業体験」について、指導助言を得ながら、「総合的な探究の時間」の充実に向けて、キャリア教育との関連性や位置づけを考える。また、「単位認定」や「教育課程」に関する情報収集を進め、校内で情報を共有する。

コンソーシアムを中心に、より多角的で充実した内容の「新しい形での就業体験」を実施する。就業体験実施後には、コンソーシアムにおいて、成果をまとめるとともに、課題を検証し、次年度の就業体験をよりよいものにできるよう、体験先や活動内容を改善する。

キャリア教育	総合的な探究
検証	改善
就業体験	企業見学

3年目

3年間に及ぶ「地域と連携した新しい形での就業体験」に取り組んだ3年生は、自立的進路選択能力が身に付き、地域の魅力や地域の企業を熟知した「グローバルな人材」として、卒業後も地域に貢献できる存在となる。

2学年において、前年度の課題が改善された「新しい形での就業体験」を実施する。実施後には受入れ企業担当者を招聘し、「就業体験報告会」を校内で開催し、就業体験の成果等を共有する。

3学年においては、「総合的な探究の時間」のキャリア教育として、1年生・2年生に向けた「キャリア報告会」を実施する。  
教育課程における「就業体験」の単位認定について検討を行う。

横須賀高校の魅力化の推進	
グローバルな人材の育成	
新しい形での就業体験	
単位認定	情報発信
キャリア報告会	地域貢献



## 2年生インターンシップ

### 横須賀高校のインターンシップ

今から20年前より取り組みを開始しました。現在でも、学年生徒全員によるインターンシップを実施している普通科高校は少ない状況ですが、当時はまさに文字通り「ゼロから」のスタート。より充実した進路指導の実現を目指し、受け入れ先事業所の確保に奔走しました。以来20年にわたり、地域住民の皆様や地元企業の支援を受け、例年50カ所程の事業所にご協力をいただき、この事業を継続しています。横須賀高校生徒の進路指導、進路実現に欠くことのできない大切な取り組みの1つです。今年度は、今まで3日間だったものを、単位認定可能な就業体験の研究を進めるため、5日間にする取り組みを実施しました。「懸命に働く大人たち」の姿に触れながら、仕事に接する機会、環境を与えていただき、確実に「成長」する生徒の姿が、そこにはあります。



インターンシップに行くことになり、私は工場を選択しました。実際に行ってみると工場の仕事は、立ち仕事で、同じ作業をずっと続けるという忍耐力のいる大変な仕事だとわかりました。そのため、仕事を続けていくにはやりがいを見つけることが絶対に必要だと感じました。また、初日はとても緊張していましたが、休み時間にいろいろな方が話しかけてくれたので、私も話すことができました。職場の人づきあいの大切さも学ぶことができました。



山端 優大(2年生)  
城東中出身



私は農業に興味があったので、適性を知るために赤ずきんちゃんのおもしろ農園に行かせていただきました。初日は必要がない葉っぱを切る作業をしました。最初にどうい葉っぱならば切ってもいいかを教えていただきました。でも、切ってもいいかわからない葉っぱもありました。わからないことはしっかりと聞いて失敗を避けていくのが大切なことだと学びました。3日目からは摘果作業をしました。この仕事はお客様がいる中での作業なのでしっかりとあいさつをすることが大事だと教わりました。農作物がどのように作られるのか知ることができ、貴重な経験ができました。



鈴木 敬喬(2年生)  
浅羽中出身



私はおおぶちそよ風こども園に行きました。園児たちは元気でいつも走り回っていました。年齢によって走る速さが全く違うのでどの程度の速さで走ってあげるのかが、その調整が大変でした。園児はこちらから積極的に話しかければ、話してくれたり、遊びに誘ってくれたりすることがわかりました。中には順番を守れなかったり、少し強引だったりと接することが難しく感じる子もいました。しかし、その時も焦るのではなく、大人は落ち着いて対応することが大事だとわかりました。



松本 圭代(2年生)  
浅羽中出身

#### ご協力いただいた機関・企業

社会福祉法人大須賀苑おおすかめく森こども園 社会福祉法人大須賀苑おおぶちそよ風こども園 社会福祉法人聖隷福祉事業団こうのとり保育園  
社会福祉法人三宝会ルンビニこども園 社会福祉法人大東福祉会おおさかこども園 社会福祉法人大東福祉会城東保育園 社会福祉法人大東福祉会ちはまこども園  
介護老人保健施設おおばケアガーデン 株式会社早川製作所 社会福祉法人丹穂会福寿荘 社会福祉法人三宝会特別養護老人ホーム紫雲の園  
医療法人社団長啓会グループホーム松葉の家 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホームくにやす苑 美容室apia しづ子美容室オーリー掛川大坂店  
アグリッチジャパン株式会社赤ずきんちゃんのおもしろ農園 小笠原加工株式会社 ヤマミ縫製株式会社大須賀工場 スズキ株式会社大須賀工場  
株式会社アイテック エスカ工業株式会社 天龍産業株式会社 ケイ・アイ化成株式会社 遠斐アルミホイール株式会社 株式会社HOWA磐田工場 株式会社覚堂  
株式会社エム・アール・ケー NSKワーナー株式会社 マルトウ工業株式会社 株式会社相良プラスチック工業所 高雄工業株式会社静岡事業所 代浅木工所  
みたか工業株式会社 静岡製機株式会社 矢崎部品株式会社大東工場 NECプラットフォームズ株式会社掛川事業所 藤森工業株式会社掛川事業所 株式会社樺葉鉄工所  
株式会社プロスパイラマニユファクチャリング リンナイテクノ株式会社 株式会社藤田鉄工所 株式会社木村鑄造所御前崎製作所 ザ・ビッグ大須賀店  
コスモ石油大須賀給油所大窪石油 マックスパリュ福田店 マックスパリュ豊田店 マックスパリュ袋井豊沢店 ミュージックハウス西尾楽器 有限会社遠州カクタス  
株式会社サンワ NETS トランコムE X東日本株式会社掛川ロジスティクスセンター ウェル恵明会株式会社るびなすスクール駒場

## 1年生地域人探究

1年生を対象に「横須賀の町の魅力を発信しよう」をテーマに体験学習を実施しました。  
クラスごと各班に分かれ、それぞれのお店へ取材にうかがいました。取材内容をもとに、お店の紹介ページや紹介動画を作成しました。



私は地域人探究で山中酒造の店主さんにお話をうかがいました。山中酒造は約200年前に創業したというとても歴史のある酒屋です。お話をうかがうと、お店の伝統やお客さんをとても大切にしていること、もっと横須賀の街を活性化させたいという気持ちが伝わってきました。私たち高校生が地域を活性化させるためにできることは少ないのかもしれませんが、自分には何ができるのかを考え、少しでも地域に貢献していきたいと思いました。



村井 琴音(1年生)  
鎌田市立南郷中出身



地域人探究で小柳屋という魚屋さんにインタビューを行いました。店主さんが親切に話をしてくれ、とても質問しやすかったです。そのおかげでwebサイト作りに必要な様々な情報を得ることができました。その後、講座でwebサイトの作り方を学びました。班の4人で連携して教えていただいたことを活用し、サイト作りに挑戦しました。webサイトは見やすさが大切だと思い、強調したいところは太文字にしました。このwebサイトで少しでも横須賀の良さが伝わったらうれしいです。



栗田 悠兵(1年生)  
城東中出身



私は赤ずきんちゃんのおもしろ農園に行きました。いちごについていろいろなことを聞いたり、実際に食べてみたりしました。お店の人は、質問に丁寧に答えてくださり、とても親切でした。そのおかげで、いちごのことやお店のことについて詳しく知ることができたので、webサイト作りを頑張ろうと思いました。webサイト作りはわからないことが多く、うまくできないことがありました。しかし、講師の先生方に教えていただきながらなんとか完成させることができました。お店のことをしっかりと伝えられていればいいな、と思います。大変だったけれど、いろいろ経験ができたのでよかったです。



田邊 叶歩(1年生)  
柴川中出身



私は今回の地域人探究で横須賀凧についてインタビューを行いました。私たちがインタビューをした石川さんという方は趣味で40年以上横須賀凧を作り続けているそうです。大きい凧、小さい凧、様々な形の凧を作っていて、こんな形の凧もあるのか、と驚きました。その中でも「巴凧」と「とんがり」が人気だそうです。私たちはその後webサイトを作りました。私たちとしては納得できるものが完成しました。早く多くの人にwebサイトを見てもらいたいです。webサイトを見た方が「よかったよ」と言ってくれるのではないかと期待しています。



阿部 なるみ(1年生)  
鎌井南中出身

### ご協力いただいたお店

愛宕下羊羹 飯田酢造店 遠州山中酒造株式会社 有限会社栄醤油醸造 株式会社おいもや 栗山製麩所 小柳屋 しみづ菓子司 満美屋 靴屋商店 大石農場ハム工房  
アグリッチジャパン株式会社赤ずきんちゃんのおもしろ農園 遠州沖ちゃん塩 やなせ提灯店 鈴木製函所 石川昇様(横須賀凧) 株式会社伊勢屋肥料農村



## 掛川市魅力発見講座・企業見学

### 掛川市魅力発見講座

市外から通っている生徒も多くいるので本校がある掛川市の魅力を再発見しようと、掛川市広報・シティプロモーション課の三枝陽子様をお招きし、お話をうかがいました。

### 企業見学

魅力発見講座でお話をうかがったあと、クラスごとにわかれ、1人あたり2つの企業を見学しました。

※写真の企業と生徒のコメントは一致する訳ではありません。



#### 掛川市魅力発見講座

掛川は昔の姿を残したまま在り続けていて伝統のある街だということを知りました。ただ人口が減少傾向にあり、他の地域へ働きに出てしまう地元の卒業生もいて人手不足に悩んでいるため、企業の方も真剣に私たちと関わっていかうとしていることが分かりました。お話をうかがい、是非地元で貢献していきたいと思いました。良いお話をうかがえて良かったです。



酒見 和希 (2年生)  
橋田中出身



倉敷繊維加工(株)静岡工場

#### 企業見学を終えて

『ヤマハ』と聞くと楽器のイメージしかなかったので、ゴルフカーを製造しているところを見ることができ、よい経験になりました。日本で使われているゴルフカーは9割がヤマハで作られているものかどうか、驚きました。ヤマハモーターパワープロダクツ(株)の見学をして、工場内を見ていると女性もかなり働いているなど思いました。話を聞くと、女性でも働きやすい環境を作っているとおっしゃっていて、働きやすそうだと感じました。



宇津山 未来 (2年生)  
大須賀中出身



松下金属工業(株)

松下金属工業(株)に見学に行きました。1つ1つの機械を紹介していただき、どの機械がどのような役割を果たすのかを知ることができました。特に500円玉を拡大して見るところに興味がありました。肉眼では見ることができないところまで確認することができてすごいなと感じました。



鈴木 幸奈 (2年生)  
浅羽中出身



山陽色素(株)東海工場

山陽色素(株)東海工場に見学に行きました。普段私たちが使っているスマホの画面や液晶テレビに使われているインクを作っている会社です。強みは「合成」「微粒子化」「分散」の3つの技術で素材から加工まで対応しているところだそうです。顔料は混ぜても溶けられないが、染料は溶けることを知りました。化学が苦手でも働くことができると聞いて安心しました。今回の経験を今後の活動に役立てていきたいです。



稲垣 楓 (2年生)  
浅羽中出身

#### ご協力いただいた機関・企業

掛川市役所広報・シティプロモーション課 掛川市役所産業労働政策課

トキシステムソリューションズ株式会社 三光合成株式会社静岡工場 ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社 松下金属工業株式会社 多摩化学工業株式会社掛川工場

興国インテック株式会社大浜工場 株式会社山下工業研究所 倉敷繊維加工株式会社静岡工場 藤森工業株式会社掛川事業所 山陽色素株式会社東海工場

## 未来授業・夏休みインターンシップ



### 1年生 未来授業

私は、未来授業を受けていろいろな仕事を知ることができました。仕事は大変で忙しいものだと思います。しかし、それだけでなく、講師の方々は、楽しさややりがいを感じていました。私はまだ将来何になりたいかを決めていません。今回、いろいろな仕事のやりがいや楽しさを知ることができました。もう一度将来のことを真剣に考えたり、自分には何ができるのかを確かめたりして、その力を将来に活かしていきたいと思います。



ラモス エジソン (1年生)  
福田中出身



### 夏休みインターンシップ

私はこの夏休みに愛知県の養豚場へインターンシップに行かせていただき、約一週間養豚農家の方々と一緒にお仕事をしました。お手伝いをさせていただいた養豚場では豚を育てる場所が分かれていて、私は全工程を経験させてもらいました。養豚というお仕事はあまりポピュラーではなく大変なこともたくさんあります。ですが、今回のインターンシップを通して養豚のおもしろさ、すばらしさを再確認することができました。



森 恒喜 (1年生)  
蟹田第一中出身

#### 未来授業にご協力いただいた講師の方の業種

ITエンジニア 介護の仕事 天職探し応援隊 体幹バランストレーナー Web制作・プログラミング 動物関係 保険代理店 機械設計 葬祭業  
理容師・美容師 スポーツ施設職員、水泳インストラクター 複職(数個の仕事をしている) 占い師 柔道整復師・鍼灸師 ヨガ、数理個性学インストラクター  
製造業(オートバイ、車等の部品製作) ビルメンテナンス業 学校備品営業 ライター・講演家

#### 夏休みインターンシップにご協力いただいた企業

株式会社HOWA磐田工場 有限会社アクティブビッグ

## 県外視察 (三重県立桑名工業高等学校)

### デュアルシステムと5日間のインターンシップを推進

1961年機械・電気・金属工業の3科で創立。1989年には材料技術科設置、金属工業科が廃科となり、2002年に「くり募集・コース制」導入した。2004年からは文科省指定「デュアルシステム」を導入し、現在に至っている。

近隣に2校の工業高校があり、設置学科も充実している。それに対し桑名工業高校は2学科の小規模校ではあるが、デュアルシステムを導入したことで、学校での設置学科以外の分野を企業で学べるのが強みとなり、希望する生徒も多い。

2年生は全員がインターンシップに参加する。デュアルシステム専攻の生徒は、実習先で行う。

1月下旬に課題発表などの「成果発表会」を外部会場で実施している。インターンシップやデュアルシステムの代表生徒による発表もここに組み込まれている。デュアルシステムについては、2月も授業があるため、加えて3月中旬にポスターセッションの形式で成果発表会を行っている。いずれも、関係企業の方も招待し、それぞれが作成したまとめのポスターの前で成果を説明、発表している。



#### ご協力いただいた機関

三重県立桑名工業高等学校



# 地域との連携

## 部活動・生徒会

横須賀高校では、部活動単位でも地域貢献活動に取り組んでいます。以前から、郷土芸能部や地域交流活動部が、地域のイベントの運営や補助係等として活動を継続してきました。地域の方々からは「高校生の力はすごい」「高校生に居てもらわなくてはイベントが成り立たない」というありがたいお言葉を頂いています。今年度は3年ぶりに『秋の文化展』を一般公開し、大須賀地区で開催される『ちっちゃな文化展』に協力することができました。また、郷土芸能部は、演出家の野田秀樹氏が主催する『東京キャラバンthe2nd』に参加したり、掛川市で行われた王将戦の前夜祭に出演させていただいたりして、地元横須賀の三社祭礼囃子を多くの方に知っていただく機会を得ました。

学校のある横須賀地域を盛り上げるための活動を生徒自身が考え、計画、準備、実践しています。

### 郷土芸能部



ちっちゃな文化展協力  
お弁当の配布

ちっちゃな文化展協力  
行灯片付け

秋の文化展出演



ALSOK杯王将戦前夜祭



東京キャラバン  
the2nd参加

私たち郷土芸能部は、今年度も様々な場所で祭り囃子を披露させていただくことができました。中でも特に印象に残っているのは演出家野田秀樹さん主催「東京キャラバン the 2nd」です。ジャンルの異なる様々な表現者の方たちと舞台に立つことができ、とても感激しました。また、今回、東京・池袋で祭り囃子を披露させていただき、今まで横須賀の祭り囃子を聞いたことがなかった多くの方々々に三社祭礼囃子を知っていただけたのではないかと思います。また、1月には全国的にも注目を集めた将棋の頂上決戦「王将戦」の前夜祭に参加させていただきました。日々の練習の成果を大舞台で披露することができ、夢のような体験でした。私たちを支えてくださっている地域の方々々に少しでも恩返しができるようにこれからも一生懸命努力していきたいと思っています。先輩たちからの伝統を、横高郷土芸能部をもっともっと全国に広め、横須賀のことを全国の方に知っていただけるように部員全員で力を合わせ、頑張っていきます。



鈴木 佑弥 (2年生)  
大浜中出身



秋の文化展



文化奨励賞授賞式

祖母が横須賀に住んでいるので以前から横須賀のお祭りのことを知っていました。私はお祭りのお囃子を覚えたかったので郷土芸能部に入部することにしました。入部してつらかったこともありましたが、目標に向かって一生懸命努力し、成長できたと感じています。地域の行事にボランティアで参加し、横須賀のことをたくさん知ることができました。また、横須賀のことを多くの方に知っていただくこともでき、やりがいがありました。郷土芸能部は地域の方たちと関わりを持ちながら地域貢献ができ、伝統あるお囃子や踊りを学ぶことができる部活動です。本当に入部してよかったと思います。



加藤 史温 (3年生)  
神明中出身



## 書道部



### <ちっちゃな文化展行灯書き> <ALSOK 杯王将戦ポスター題字>

私は2年生の時に「かけがわ市議会だより」の表紙と掛川城で行われた「王将戦」のポスターの題字を担当させていただきました。そして今年度も昨年度に続き「王将戦」の題字を書かせていただきました。(裏表紙参照)また、今年度は10月に大須賀地区で行われた「ちっちゃな文化展」の行灯の字を書道部のみんなと協力して書きました。私は、私たちが生まれ育った掛川の街が少しでも活気にあふれてほしいと思いながらいつも書いていました。私たちが書いた字が掛川市の役に立つことができたら幸いです。



稲垣 百恵 (3年生)  
大須賀中出身

## 秋の文化展

## 生徒会・生活文化部・地域交流活動部



ちっちゃな文化展協力  
クリーン作戦



秋の文化展  
生活文化部販売



ちっちゃな文化展協力  
クリーン作戦

### 生徒会

文化祭は校内のみの開催であったため、ちっちゃな文化展と同時開催する秋の文化展は横須賀高校をPRするよい機会だと考えていました。しかし、横須賀高校は通りに面しておらず、少し中に入った場所にあるため、思ったように人が来てくれませんでした。そのため、宣伝をしようということになり、看板を持って、街中を歩き回りました。急遽作った看板だったので上手に作ることはできませんでしたが、宣伝の結果2日間で500人ほどの方に来場していただき、とてもうれしかったです。

### 生活文化部

秋の文化展で販売を経験して思ったことは、体育館の文化部の展示を見に来てくれる方は多くても、その方たちに商品を買っていただくことはなかなか難しいということです。私たち手作りの商品を買っていただくことと、展示を見に来てくれた方にみんなで声掛けをすることにしました。その結果、小さな子どもからお年寄りまで幅広い年代の方に買っていただくことができ、うれしい思いもできました。売ることの大変さ、買っていただいた時の喜びが経験でき、とてもよい機会になりました。

### 地域交流活動部

私たち地域交流活動部は、校内外の清掃や地域のイベントにボランティアとして参加しています。今回の秋の文化展ではPTAバザーの準備の手伝いをしました。私はバザーをやったことがないので、どのようなことをするのか全く知りませんでした。準備の手伝いをしてどのようなことをするのか知ることができ、貴重な経験ができました。また、秋の文化展に出演する郷土芸能部と吹奏楽部の発表を見ていただくお客さんのために、椅子を準備しました。準備した椅子が足りなくなるほど多くの方にきていただき、うれしかったです。



赤堀 宏太 (2年生)  
大須賀中出身



松浦 茂香 (2年生)  
大須賀中出身



佐々木 優雅 (2年生)  
大須賀中出身

## 授業連携

### 3年生・家庭コース 地域の魅力発信！米粉スイーツの商品化

米の消費量が近年減少していることに危機感を感じ、手軽においしく食べることのできる米製品の開発を試みました。使いやすさから米粉を使用し、自由な発想で多様なレシピを作り上げました。「とうもんの里」や「たご満」と連携し完成した商品はイベント販売やたご満(店舗限定)で販売する予定です。



### 私たちのレシピが選ばれて

課題研究の授業で米粉を使ったスイーツの商品化に取り組みました。お米は自給率が高く、多くの地域で作られている作物です。しかし、最近、お米を食べる人が減少していると聞きます。時間がなくて一人暮らしの人は料理の手間がかからないパンや麺類を好んで買っているようです。食生活の多様化により、お米の消費量が減っていることを知り、お米を多くの人に食べてもらおうと考えました。そこで幅広い世代の方に人気のあるシュークリームを、米粉を使って作ることにしました。商品化を目指して試作品を作ってみました。しかし、一回目は生地がちゃんと焼けず、サツマイモのクリームも、サツマイモの感じが強く、甘みも足りずおいしいクリームができませんでした。二回目は改善し、生地を焼く時間を長くしたところサクッと焼きあがりました。クリームはカボチャクリームにしてみました。しかし、カボチャクリームも牛乳の風味が強すぎてうまくいきませんでした。そのため、三回目の試作では、もう一度サツマイモでクリームをつくってみようということになり、レシピを見直しました。サツマイモに生クリームを混ぜたり、もう少し砂糖を加えたりして、改良を重ねました。そうすると、サツマイモクリームはなめらかで、ちょうどよくサツマイモを感じられるクリームが完成しました。コンペには「とうもんの里」の名倉さんや「たご満」の天野さんも来てくれたのでとても緊張しましたが、しっかりと想いを伝えることができました。私たちの商品が選ばれたときはとてもうれしかったです。私は高校卒業後、調理の専門学校に進学するので、この経験を活かし、頑張っていきたいです。



伊藤 梨七(3年生)  
淡羽中出身

### ご協力いただいた機関・企業

NPO 法人とうもんの会 株式会社たご満 大須賀児童館 日本茶インストラクターの三輪悦夫先生



## 2年生・家庭コース 赤ちゃんとのおふれあい

大須賀児童館の「赤ちゃん交流事業」により、妊婦ジャケット体験や絵本の読み聞かせに取り組みました。例年は母親と乳児も参加していますが、コロナウイルス感染予防対策として代替活動となりました。そこで育児休業中の教員の協力でふれあい体験の経験を活かし、赤ちゃん交流会を設けました。



今回の赤ちゃんとのおふれあいを通して、赤ちゃんの特性を知ることができました。赤ちゃんは、いろいろなことに対して興味を持ち、見て触れて様々な体験をします。また、日常生活のいろいろなことに刺激を受け、感情表現が生み出されて、感情が豊かになっていくのだと感じました。この経験を活かす機会があり、実際にお世話することができた赤ちゃんは動画で見ていたよりもとても活発でした。じっとしているのが嫌なようで常に歩き回っていました。赤ちゃんは身の回りのものすべてに興味を持ちます。しかし、何が危険なのかはわかりません。そのため、私たちが配慮しなければならないことを実感しました。いろいろなことに興味を持つ分、危険も多いことを知り、育児をするときは赤ちゃんから全く目を離せないことがわかり、育児の大変さを知りました。今回のふれあいでは「知る」ことの楽しさも経験でき、私にとってとても貴重な経験になりました。

今回は赤ちゃんと交流することはできませんでしたが、その子にあったものを選ぶ必要性を学びました。例えば生後10か月くらいの赤ちゃんの場合、絵本だったらシンプルでわかりやすいもの、おもちゃだったら口に入れて大丈夫なものを選ぶことが大切だと知りました。その後、実際に交流を持てた10か月の赤ちゃんは自由気ままに動き回っていました。私を含め生徒のみんなは目を輝かせながら交流しました。実際に赤ちゃんと交流ができ、何よりも一番思ったことはかわいいということです。

鈴木 海真(2年生)  
電洋中出身大石 佳那(2年生)  
掛川市立栗中出身

## 3年生・商業コース お茶の淹れ方講座

静岡県の特産品である「お茶」の美味しい淹れ方や茶葉の種類・効用について学びました。お湯の温度や蒸らし時間など、少し意識をするだけでお茶の味が大きく変わることを実感し、今後役立つ知識を得ることができました。



今回お茶の淹れ方講座でたくさんのことを学ぶことができました。この時間を通してお茶の中でも緑茶や紅茶などがあり、さらにその中でも多くの種類があることで、お茶に対する視野が広がった気がしました。種類によるお湯の温度調節を学んでどんなものに合いそうか、どんな時に飲みたいかなどを考えながら淹れることができたので、お茶に対して親しみの深い静岡県民としてこれからさらにお茶と向き合い、嗜んでいきたいです。

今回、お茶の淹れ方講座を通してお茶の種類が多いことに驚きました。緑茶の中でも何種類もあり、お茶によって独自の特徴があることに感銘を受けました。また、温度やそれぞれの茶葉に適した時間の調整によって味が変化するお茶の奥深さに気づきました。お茶の町と言われる静岡県民として、とても勉強になりました。皆様も日常の中で何気なくお茶を飲む時には、どの茶葉なのか調べるのも面白いかもしれません。

西郷 恵(3年生)  
城東中出身大岡 恵士(3年生)  
浅羽中出身

## 掛川市との連携

地元掛川市を盛り上げようと、様々なイベントに参加し、協力させていただいています。生徒たちにとってもよい経験となり、学校生活にも生かされています。



掛川まちづくりミーティング

かけがわ教育の日(司会)



### 生涯学習協働推進課 掛川まちづくりミーティング

今回の掛川まちづくりミーティングでは、市の職員の方から高校生までの幅広い年代、職業の人たちと情報や意見を交換してミーティングを行いました。色々な人がいたので普段気にしないことや気づけないことの話色々な方面から聞いて普段とは違った別の視点で物事を考えることができました。また、いつも過ごしている掛川という街のことについて考える良い機会になったと思います。これからも掛川について色々考えたいと思いました。



富田 悠大(1年生)  
大浜中出身



### 掛川市教育委員会 かけがわ教育の日(司会担当)

私は集会などで話すことが多くあり、ゆっくり話すことには慣れていましたが、今回は知らない人の前で話したのでいつも以上に緊張していました。司会はただ台本を読み上げるだけではありません。話すスピードによってその会全体の進行も変わってしまいますし、いつも以上にはっきりと話さないと相手に伝わりませんし、伝わらないと会場の人々に不安を与えてしまいます。そのため、プレッシャーはありましたが、市の方のサポートと一緒に司会をした高校生と協力し時間通りに閉会することができました。今後もこうしたことに積極的に参加していきたいです。



柴田 翼也(2年生)  
鶴田市立南原中出身

#### ご協力いただいた機関業

掛川市役所生涯学習協働推進課 掛川市教育委員会 大須賀第一地区 掛川市立図書館




**大須賀第一地区 大須賀第一地区まち協祭**

大須賀公民館で『まち協祭ステージ』の司会をやりました。事前に打ち合わせをしましたが、本番にしっかりとしゃべることができるか不安になりました。特に、二人の掛け合いのようなセリフの部分がうまくできるかどうか、とても心配していました。そのうえ、本番では思った以上の人が出て、とても緊張しました。しかし、役員の方たちからアドバイスをいただき、いろいろとサポートをもらったので上手にやりとげることができました。私は今まで司会をやったことがなかったので、よい経験になりました。


**大石 咲由希(1年生)**  
大須賀中出身

**掛川市立図書館 ねことけいをつくろう**

夏休みに大須賀図書館で『小学生ものづくり講座』を行い、そこで『ねことけい』を作りました。今年は新型コロナウイルスが少し落ち着いたため、開催することができ、たくさんの小学生が参加してくれました。小学生のみなさんに『ねことけい』の板に自由に色付けしてもらい、そこに、私たちが時計の仕組みを説明しながら、時計キットを取り付けてもらいました。みなさんがとても楽しそうに説明を聞いてくれたのでうれしかったです。


**丸山 樟也(2年生)**  
淺羽中出身

**高校生が選ぶ掛川文学大賞選考・授賞式**

私は、掛川文学大賞の選考委員を務め、その授賞式に参加しました。授賞式では、大賞に選ばれた『りぼんちゃん』の作者である村上雅郁先生に「本音でトーク」というテーマで様々なお話をいただきました。小説を書き、本を出版されている方のお話は、創作に少し手を出している私にとって、とても参考になる貴重なものでした。小説のネタや構成など今後につながりそうなことは、忘れないようにメモをしておきたいほどで、本当に有意義な時間を過ごすことができました。しかし、実は緊張しすぎて話の詳細をしっかりと覚えていないことがとても残念です。


**斉藤 琴羽(2年生)**  
淺羽中出身

**高久書店ほんかわ俳句大賞 静岡新聞社賞 青い空 大地につくし 凜と咲く**

12枚の写真から1枚を選んで、俳句を作りました。私は、写真を見て、春になったばかりの、雲一つない晴天の日を想像しました。小さな青い花がたくさん咲いている中に、一つだけつくしが出ていて、華やかではないけれど、静かに自分を主張しているような力強さを感じました。俳句のおもしろいところは、読み手によって様々な受け取り方ができるところで、選評には「つくしは花ではないけれど春の訪れを教えてくれるものとして讀んでいるように思える」とありました。


**鈴木 悠悟(3年生)**  
大浜中出身




ドローン防災隊とは、災害時に人が入れなかったり、立ち入るのが危険だったりする場所をドローンで上空から撮影しようと始められたものです。そのドローンを高校生が操縦することになり、参加することになりました。ドローンの操縦は私が思っていたよりも難しく、距離感がつかめなかったり、操作を間違えてしまったりしました。しかし、練習を重ねていくうちに思った通りに飛ばせるようになりました。災害は起きないことが一番ですが、もし起きてしまった際には被害が最小限に抑えられるようがんばりたいです。



戸塚 優翔 (1年生)  
掛川市立北中出身



私はもともとドローンに興味があったので、学校で募集していたドローン防災隊に応募し、参加しました。ドローンの操作は簡単だと思っていましたが、実際にはなかなかうまく止めることができなくて難しかったです。練習をしていくうちに少しずつ上達していきました。今後もドローン防災隊の活動が定期的にあるので、積極的に参加して地域防災に協力したいと思います。



藤田 忍 (1年生)  
大浜中出身

ご協力いただいた機関 掛川市役所危機管理課

## 地域との連携 IV

### ●合同防災訓練・地域防災訓練

## 大須賀中学校との連携

中学生や高校生などの若い世代の力が必要となる場面として、地震や台風などの自然災害発生時が考えられます。学校周辺の横須賀地域の特徴として、昼間人口における高齢者の割合が比較的高いことがあげられます。そのため、横須賀高校では、自分たちの安心・安全を守ることはもちろんですが、地域の安心・安全を守るための活動に取り組んでいます。自然災害発生時、学校は地域の避難所となります。その時に、さまざまな形で地域の避難者を支援できるよう、大須賀中学校の生徒と合同で防災訓練に取り組んでいます。



ご協力いただいた機関 掛川市立大須賀中学校 掛川市役所危機管理課



# 地域との連携



## 保育体験実習

1年生4クラスの生徒が2クラスずつに分かれ、2日間保育実習に取り組みました  
今年度も令和3年4月開園の、よこすかめくもりこども園で活動させていただきました。



私は今回の保育体験を通して子どもによって性格や感性はそれぞれであるため、保育者は広い視野を持って接していく必要があることを学びました。特に外遊びをしているとき、グループになり楽しそうに遊んでいる姿が印象に残りました。気になるものがあるとあちらに行ったりこちらに行ったり、同じ遊びをしていても個性が出るのだと感じました。こども園に行く前は不安な気持ちがありましたが、子どもたちの無邪気な笑顔を見て、こちらの緊張もほぐれ、楽しく過ごすことができました。改めて子どものすばらしさを感じることができました。



中野 隆一 (1年生)  
袋井中出身



短い時間の中で幼児と一緒に遊ぶことができるか不安でしたが楽しい時間を過ごすことができました。保育体験を通し幼児と関わる楽しさや大変さを学びました。また、幼児一人一人個性があって、先生方はその個性に寄り添って保育をしていると思いました。『幼児と同じ目線になる。時には母親役になる』など先生方は一人何役にもなり、周囲に注意を払って接しないといけません。私の将来の夢も同じようにいくつもの視点で見る必要がある職業なので、今回の保育体験の経験を活かしたいです。



大石 真央 (1年生)  
掛川市立東中出身

ご協力いただいた機関等 社会福祉法人大須賀苑よこすかめくもりこども園

## マダガスカル通信

本校の中谷友紀教諭がマダガスカルにJICA海外協力隊として派遣されています。マダガスカルでの生活の様子や活動報告を定期的に伝えてくれ、生徒の国際理解の一助となっています。

### 国際理解

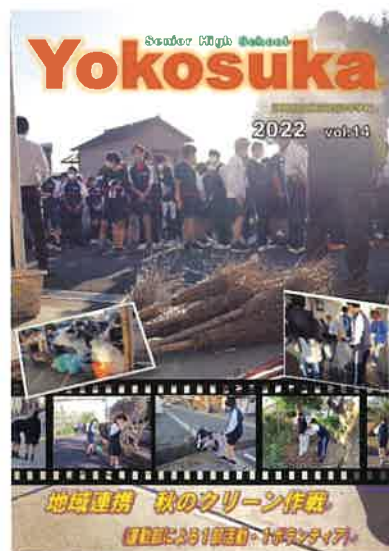


中谷 友紀 (横須賀高校教諭)  
JICA海外協力隊





## 「未見の我」 まだ見ぬ自分と出会う場所



静岡県立横須賀高等学校ホームページ

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/yokosuka-h/home.nsf>

横須賀高校

